

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12.4	13	14	15	16	17		
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・企業行動規範に職場環境の整備を掲げ、環境を害する要因排除に努めている。 ・相談窓口を設け、事象が発生してしまった場合にも迅速に対応できる体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・就業規則にて、ハラスメントに該当する行為を禁じている。 ・社内に相談窓口を設けている。 ・各種ハラスメント防止に関する内容を含んだ社内e-ラーニングを年2回行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1			
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・勤怠管理システムと入退室ログを活用して日々の労働時間管理を実施している。 ・長時間労働となった者に対しては、医師による面接指導の希望確認、もしくは臨時健康診断を確実に実施するとともに、長時間労働となった原因の特定を行っている。									8.5 8.8										
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・労働条件、職務内容等において、日本人労働者との差別はない。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3								
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・各事業所に衛生委員会を設置し、月1回以上の活動を実施している。 ・産業医による職場巡視を行い、指摘のあった不安全な状態については速やかに改善策を講じるようにしている。 ・定期健康診断を実施し、要再検査となった者に対しては保健師と連携して再検査受診の徹底を図っている。									3		8								
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスチェックを年1回実施して、受診者に結果をフィードバックし、高ストレス判定者に対しては医師による面接指導の受診を慫慂している。 ・『心の健康づくり計画』を策定して各主体（一般社員、管理職、人事部、衛生委員会、産業医）の役割を明確にしている。 ・衛生委員会が年に1回実施している安全衛生に関するe-ラーニングで、本年度は「メンタルヘルス」を題材にする。【予定】																			
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・育児・介護と仕事の両立を支援すべく、一部法定要件を上回る支援制度を整備し、くるみん認定も取得済み。 ・増加傾向にある精神・発達障害者の採用を促進するとともに、「精神・発達障害者しごとサポート養成講習」を受講して、採用した精神・発達障害者の職場定着も支援している。						5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
8 人権・労働	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・年間計画を策定し、階層・職能・課題別の研修を継続的に実施している。 ・雇用形態に関わらず未経験者向けの教育・研修を実施している。 ・会社で認定する資格取得のための通信教育受講には受講料補助制度を設けている。				4	5.5			8	9								
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・職務と能力により賃金体系を定めており、目標管理と評価結果も考慮して処遇している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・社内食堂で提供するメニューにハーフサイズメニューを設け、カロリーコントロールに取り組む社員を後押ししている。 ・健保組合の禁煙プログラムを社内周知したり、禁煙タイムを設けたりして、喫煙者の禁煙に向けた取組みを支援している。 ・健康経営への取組み【予定】				3					8								
11 環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・年に2回、廃棄書類を取り纏め、リサイクル事業者に持ち込んで適切に処理をしている。											11.6	12.4	14.1				
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・エネルギー法に基づく電力・使用燃料の使用量を把握している。 ・ビル・エネルギー・マネジメント・システム(BEMS)を導入している。								7.3			13						
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・年間使用量を把握し、排出抑制に努めている。 ・クールビズ・ウォームビズを推奨し、冷暖房使用の抑制を行っている。									7.2 7.3			12.4	13.3				
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令等で規制されている有害化学物質は事業活動において取り扱っていない。			3.9		6.3						11.6	12.4					
	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・事業活動で調達する製品については、環境に配慮した製品を優先的に使用することで生態系保全に配慮している。					6.6									15			
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・廃棄書類はリサイクル事業者に持ち込んでリサイクルを行っている。 ・排出されるごみの分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めている。												12.5	14.1				
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・井水を雑用水(トイレへの給水、芝生への散水等)に利用し、上水道利用の節約と水資源の有効活用に努めている。						6.4 6.6											
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・エコアクション21ガイドラインに準拠した環境規程を作成し、企業として環境保全に努めている。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社ホームページにて開示している。												12.6					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
20	環境	□ 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・社内設備（屋外の街灯等）における太陽光利用の促進。【予定】							7.2						13							
		□ 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・グリーン調達を積極的に行い、製品・サービスの環境負荷低減に努めている。											12.2	13	14	15						
22	公正な事業慣行	□ 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則とコンプライアンス研修により周知と徹底を図っている。																		16	16.5	
		□ 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範として自社HPや事業所にて公開している。																			16	
24	公正な事業慣行	□ 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・全てのお客様各社と基本契約・機密保持契約を締結し、その中に知的財産権保護を謳い、お客様と相互に知財侵害をしない・させないことを確認して、知財保護に取り組んでいる。								8.2	9											
		□ 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・プライバシーマーク認定を受けている。 ・個人情報保護方針を掲げ、自社HPにも掲載している。 ・個人情報保護規程を策定し、社員にも継続して教育している。 ・個人情報の取り扱いに関しては常にお客様と契約を交わし、併せて社内で台帳管理を行うと共に、受領から廃棄までを厳重に管理している。																			16	
26	公正な事業慣行	□ 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の取り扱いはない。																			16	
		□ 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・大手サプライヤーとサプライヤーチェーン契約を締結し、当社のパートナーにもその内容に沿った取組みを実施している。 ・今後更にサプライチェーン契約の締結先を増やしていく。【予定】				5					8			10			12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□ 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・社内開発において、品質管理手順を構築し、品質検査を実施した上で納品を行っている。			3.9											12.4						
		□ 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・専門部署による品質評価を実施している。 ・業界動向や開発手法をベースに作成した開発基準を社内ルールとして周知している。											9									
30	製品・サービス	□ 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・クラウド環境を活用した開発により電力使用量削減に取り組んでいる。 ・今後更に積極的に活用を進める。【予定】						6							12	13	14	15				
		□ 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・RPAやセンサー等を活用したIoT技術を提供し、従来技術では解決できなかった顧客の課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	地域貢献	□ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・長野IoT共創ラボの設立により、長野県内同業他社と協業したIoT推進活動を行っている。				4																17
		□ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・自治体主催の各種イベントへの協賛やボランティア活動、障害者スポーツへの協賛・システムによる技術支援を行っている。 ・災害支援等への募金を行っている。				4							11						14	15		17
34	地域貢献	□ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・食堂の食材は地元産を利用している。 ・地域資源の利用は今後も積極的に検討する。【予定】										8	9		11	12	13					

